



福島県医発第 415 号（総）

平成 25 年 5 月 2 日

各 医 師 会 長 殿

福 岡 県 医 師 会

会 長 松 田 峻一良

（公印省略）

公益財団法人結核予防会からの陳情書について

時下ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

本件は、先般開催されました第 64 回結核予防全国大会において、今後の新しい結核対策や国際協力及び COPD 他呼吸器疾患対策や、広く国民の健康に寄与すべく特定健診・特定保健指導をはじめとする生活習慣病対策等の事業を推進するため、決議・宣言が採択されたもので、今般、決議内容の実現について公益財団法人結核予防会より別紙のとおり陳情書が参りました。

つきましては、貴会におかれましても本件についてご了解いただき、ご高配方お願い申し上げます。

小郡三井医師会より

感染症対策担当理事 白石恒明
会長 蒲池 壽

公益社団法人 福岡県医師会
会長 松田 峻一 様

平成25年 4月19日

第64回結核予防全国大会運営委員長

公益財団法人結核予防会

理事長 長田 功

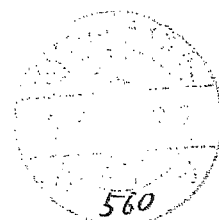


陳 情 書

私ども結核予防関係者は、3月18日、19日の両日、東京都文京区において全国から約650人の参加者を得て第64回結核予防全国大会を開催いたしました。

初日には研鑽集会を開催し、「結核対策の行方-日本そして世界」を主題に、日本及び世界の最新の状況を概観しながら、今後の活動の方向性を考えていくための課題について、各方面からの識者による発表・討議を行ないました。その結果を受け今後の新しい結核対策を推進するため、別紙の通り決議・宣言を採択いたしました。

つきましては、決議に盛り込まれた6項目の実現のため、貴会のご配慮を賜りたく、ここに決議文を添えて陳情いたします



福 結 予 第 10 号

平成25年4月18日

公益社団法人 福 岡 県 医 師 会
会 長 松 田 峻 一 良 様

公益財団法人福岡県結核予防会
理 事 長 松 田 峻 一 良



結 核 対 策 等 に 関 す る 陳 情 に つ い て (依 頼)

時下、ますますご清祥のこととお慶び申し上げます。

当会事業につきましては、平素より格別のご指導、ご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

平成23年の我が国の結核の現状は、いまだに年間22,681人の新規患者が発生し、2,162人の方が亡くなっているなど我が国の主要な感染症であり、罹患率、死亡率は先進諸国の中では高い状況で、罹患率は人口10万対17.7と国際的には依然として中まん延国となっています。また、大都市の結核問題をはじめとする地域間格差、高齢者対策等、決して結核対策の手を緩めることは出来ません。

公益財団法人結核予防会では、毎年結核予防全国大会を開催いたしており、本年は第64回結核予防全国大会を去る3月18日、19日の両日、結核予防会総裁秋篠宮妃殿下の御臨席を仰ぎ、東京都において開催いたしました。

本大会では、全国より結核予防会本支部並びに結核予防婦人会他、結核予防関係者約650人の参加を得て、今後の新しい結核対策や国際協力及びCOPD他呼吸器疾患対策や、広く国民の健康に寄与すべく特定健診・特定保健指導をはじめとする生活習慣病対策等の事業を推進するため、別紙のとおり大会決議・宣言を採択いたしました。

つきましては、結核制圧を目指し、決議に盛られました項目等の実現のため、これまでに増して結核対策をより強化するとともに、複十字シール運動をはじめとする結核予防の普及啓発活動の充実を図って参りますので、今後とも、貴会の特段のご指導、ご配慮を賜りたく、ここに別紙決議・宣言文を添えて陳情いたします。

第 64 回結核予防全国大会決議

平成 23 年の我が国の新規結核患者は 22,681 人、罹患率は人口 10 万対 17.7 で、我が国は依然として中まん延国です。最近の結核の特徴としては、合併症をもつ高齢患者の増加、ホームレス・日雇い労働者など社会経済的弱者を多く抱える大都市などの罹患率が高く、国内での地域間格差の拡大が見られること、外国人患者のうち 20～30 代の若年層の増加など、質的な変化を示しており、重点的な対策の強化が求められています。

平成 23 年 5 月には「結核に関する特定感染症予防指針」が改訂され、平成 27 年までに人口 10 万対罹患率を 15 以下とするなど具体的目標も掲げられ、結核制圧に向けた更なる一歩が踏み出されました。

診療報酬面では平成 24 年の改訂で一定の改善が図られましたが、結核医療には総合的で高度な医療体制が必要であるにも関わらず、他の疾病に比べ診療報酬評価が低く不採算部門に陥っている状況を踏まえ、より適正な評価が行われる必要があります。

結核の発病、悪化には喫煙や糖尿病、悪性腫瘍などが関与しており、生活習慣病の予防が結核予防につながるということが再認識されています。そこで、強力な禁煙運動や受動喫煙防止対策を推進し、COPD（慢性閉塞性肺疾患）や肺がんなどの呼吸器疾患対策に努める必要があります。

生活習慣病対策としては、特定健診・特定保健指導が重要な役割を担っており、円滑な実施に向けた見直しが行われているところであります。

世界に目を向けると、結核は依然として大きな社会問題となっております。特にアジア、アフリカなど開発途上国では人材や技術不足から他の健康問題と並んで深刻な状況にあり、我が国からの技術協力による貢献がさらに期待されています。これに関連し、日本発の新しい技術として、簡便で精度の高い結核菌検査や新たな抗結核薬など、世界の結核対策に大きな貢献をしようとする技術も開発されており、これらを積極的に活用して、さらに結核対策を進めていく必要があります。

よって、今大会において検討の結果、次の事を決議いたします。

1. 「結核に関する特定感染症予防指針」に基づく対策としては、
 - ①国、地方公共団体、結核予防会及び結核予防会各都道府県支部において、結核に関する知識や技術を国民や医療関係者に正しく伝え、結核のまん延防止に努めること。
 - ②国、地方公共団体、結核予防会は結核研究をより一層推進し、新診断技術や新抗結核薬の開発と早期導入を進めるとともに、結核対策のための人材育成を図ること。
 - ③国及び地方公共団体は、大都市における生活不安定者、高まん延国出身

者等の結核問題解決のために、広報、啓発活動の強化、療養環境の整備を行うこと。さらに、生活支援、服薬支援などを一元的に行い、社会経済的弱者の健康問題に総合的に取り組むこと。また結核の診療報酬評価の是正に継続して取り組むこと。

2. 結核の国際協力としては、

- ①国は、「ストップ結核ジャパンアクションプラン」に基づき、必要な施策を推進するとともに、結核対策を含む保健分野に知見を有する関係団体の主体的活動を支援すること。
- ②我々は、日本発の新技术について、その有用性を積極的にアピールし、その普及を図り、さらなる世界の結核対策に貢献すること。

3. 我々は、結核予防の普及啓発や国際協力の貴重な財源となる複十字シール運動を盛り上げるため、関係者・団体への働きかけに努めること。

4. 肺がんやCOPD等の呼吸器疾患対策として、

- ①我々は、「呼吸の日」(5月9日)・「肺の日」(8月1日)行事をはじめ、国民に対する普及啓発に努めること。
- ②我々は、COPD予防を生活習慣病対策の柱の一つと位置づけ、調査・研究を支援するとともに、肺機能検査等を健診の必須項目に加え、その早期予防と治療に努めること。

5. 特定健診・特定保健指導対策としては、

- ①国は、特定健診・特定保健指導について、生活習慣病予防における指針のもと円滑な実施に努めること。
- ②我々は、特定健診・特定保健指導の推進を国民運動にしていくため、関係者と連携し、スマートライフプロジェクト等の普及啓発活動を支援すること。

6. 上記の他、我々は、東日本大震災被災地への健康支援を継続して実施します。

以上6項目の実現に向けて一層努力するものといたします。
以上決議いたします。

平成25年3月19日
第64回結核予防全国大会

第 64 回結核予防全国大会宣言

我が国の平成 23 年における結核罹患率は人口 10 万対 17.7 で、我が国は依然として中まん延国です。平成 23 年 5 月に「結核に関する特定感染症予防指針」が改訂され、平成 27 年までに罹患率を人口 10 万対 15 以下とするなど具体的目標も掲げられ、低まん延国化にむけた新たな一歩が踏み出されましたが、我が国を取り巻く結核の状況は、合併症を伴う高齢患者の増加、ホームレス、日雇い労働者を抱える大都市への集中化、外国人患者割合の増加など、複雑化し質的な変化を呈しています。

国内では科学的で実効性のある結核対策の充実に努めるとともに、地域特性をふまえた結核医療提供体制の確立及び診療報酬の適正化に引き続き取り組み、また、東日本大震災被災地への健康支援実施を継続します。

世界に向けては、ストップ結核ジャパンアクションプランを確実に実施し、結核の制圧へ向け総力を挙げて取り組みます。

また日本発の新技术について、その有用性を広め、積極的に活用するよう働きかけます。

さらに、特定健診・特定保健指導の推進、禁煙運動や受動喫煙防止対策による肺がん、COPD（慢性閉塞性肺疾患）をはじめとする呼吸器疾患対策をすすめ、国民に対する正しい知識の普及啓発に努め、世界の人々が健康で明るい生活を送れるよう組織一丸となって努力します。

以上宣言します。

平成 25 年 3 月 19 日

第 64 回結核予防全国大会

結核の状況(全国・福岡県)

H25. 4. 1

年	新登録患者数		罹患率		患者数		有病率		死亡者数		死亡率	
	全国	福岡県	全国	福岡県	全国	福岡県	全国	福岡県	全国	福岡県	全国	福岡県
23	22,681	938	17.7	18.5	17,264	760	13.5	15.0	2,126	76	1.7	1.5
22	23,261	973	18.2	19.2	17,927	821	14.0	16.2	2,126	87	1.7	1.7
21	24,170	992	19.0	19.6	18,915	817	14.8	16.4	2,159	91	1.7	1.8
20	24,760	1,062	19.4	21.0	20,021	921	15.7	18.2	2,216	101	1.8	2.0
19	25,311	1,026	19.8	20.3	20,637	894	16.2	17.7	2,194	76	1.7	1.5
18	26,384	1,058	20.6	20.9	21,976	930	17.2	18.4	2,269	79	1.8	1.6
17	28,319	1,123	22.2	22.2	23,969	1,036	18.8	20.5	2,296	86	1.8	1.7
16	29,736	1,295	23.3	25.6	26,945	1,267	21.1	25.0	2,330	92	1.8	1.8
15	31,638	1,398	24.8	27.7	29,717	1,490	23.3	29.5	2,337	102	1.9	2.0
14	32,828	1,415	25.8	28.1	32,396	1,539	25.4	30.5	2,317	90	1.8	1.8
13	35,489	1,553	27.9	30.9	36,228	1,680	28.5	33.4	2,491	93	2.0	1.9
12	39,384	1,613	31.0	32.2	41,971	1,875	33.1	37.4	2,656	115	2.1	2.3
11	43,818	1,845	34.6	36.9	48,888	2,185	38.6	43.7	2,935	118	2.3	2.4
10	41,033	1,660	32.4	33.3	49,205	2,297	38.9	46.1	2,795	78	2.2	1.6

【世界】<2011年(平成23年)>

◇罹患率

日本の17.7は	アメリカ	4.1	の	4.3倍
	カナダ	4.7		3.8倍
	オーストラリア	6.3		2.8倍
	フランス	9.3		1.9倍

※ 日本は世界的にみて依然として結核中まん延国

- ◇結核菌の感染者数 20億人以上(世界人口の1/3)
- ◇全結核新発生患者数 880万人<2010年>
- ◇結核死亡者数 145万人<2010年>
(HIV合併35万人を含む)

【国内】<2011年(平成23年)>

◇罹患率 17.7 (対前年比 0.5 減)

大阪府(28.0)・徳島県(23.6)・和歌山県(23.5)・東京都(22.9)

大阪市	41.5	は 岩手県 の	4.7倍
名古屋市	28.1		3.2倍
東京都特別区	25.6		2.9倍
神戸市	24.6		2.8倍

- ◇新登録患者の半数以上(53.8%)が70歳以上の高齢者
- ◇20歳代の新登録結核患者の29.6%が外国籍結核患者で、その割合は増加傾向

小学校・中学校での結核健康診断は 問診で行います。

小学校・中学校での結核健康診断の方法は？

小学1年生～中学3年生の全学年に問診を行い、
その結果必要と認められれば精密検査を実施します。

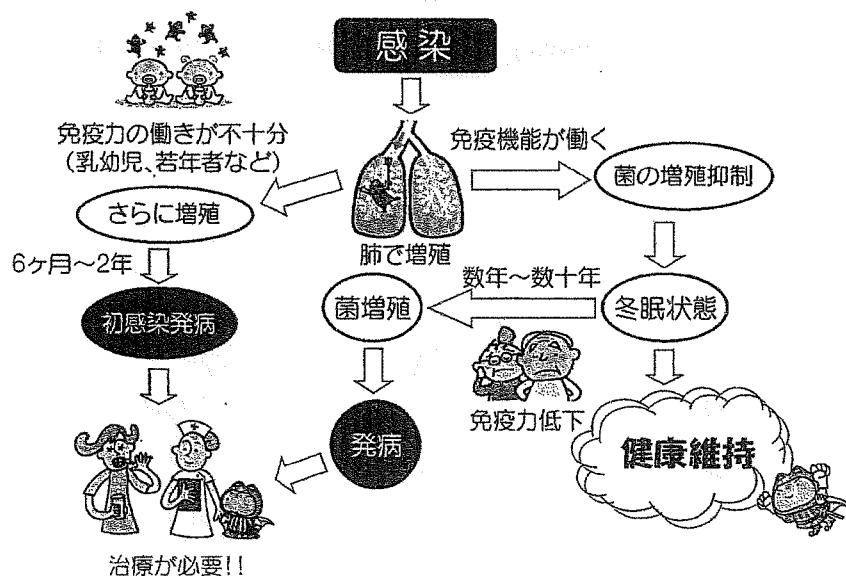
問診で何を聞かれるの？

- ① 結核性の病気にかかったことがありますか？
- ② 結核の予防のお薬を飲んだことがありますか？
- ③ 家族や同居人に結核にかかったことがある人がいますか？
- ④ 外国に住んでいたことがありますか？
- ⑤ 2週間以上「せき」や「たん」が続いていますか？
- ⑥ BCGの接種を受けたことがありますか？

問診票での記入は
確実な判定を行うためにも
保護者の方が正確に
記入してもらえるように
しましょう



結核って一体どんな病気？



結核とは、結核菌によって主に肺に炎症を起こす病気です。重症の患者の咳などで結核菌が飛び散り、それを周りの人が吸い込むことによって感染します。

ただし、結核に感染しても必ず発病するわけではありません。通常は免疫により結核菌の増殖を抑えますが、免疫力が弱まると発病することがあります。しかし薬をきちんと飲めば、周りの人に感染させる危険性は少なくなります。

結核について知ってください



このような人はいませんか？

- 咳が2週間以上続く
- 微熱が続く
- 痰が出る(血が混ざる)
- 倦怠感(身体がだるい)
- 胸痛
- 体重減少

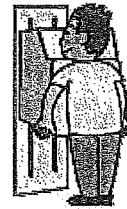
自分自身の健康を守ることはもちろんのこと、家族や友人などへの感染を防ぐためにも、早期発見・早期治療が重要です。風邪かなと思う次のような症状が2週間以上続く場合は、結核を疑って早めに医療機関を受診してください。



結核の予防法

①赤ちゃんは生後1歳(標準接種期間… ②毎年健康診断を受けましょう。

生後5ヵ月～8ヵ月)までに必ずBCG接種を受けましょう。
(H25/4月から)



③2週間以上咳が続くときは医療機関を受診してください。

④日頃より健康管理に気をつけて、規則正しい生活を心がけてください。



- 適度な運動
- 十分な睡眠時間
- バランスの良い食事



結核制圧のための複十字シール運動募金にご協力ください

★ご存知ですか？複十字シール運動★

複十字シール運動は結核やその他の胸部疾患をなくすための事業資金を集めるために行われている募金活動です。この運動は、世界共通の運動で約100年の歴史があり、募金媒体としてシールが使われています。現在では世界80カ国でシールが発行され、結核制圧や胸部疾患予防のための募金活動として定着しています。

★あなたの募金がみんなを救います★

世界の結核制圧のため、結核予防会では途上国の結核対策にも力を注いでいます。途上国では結核治療に最も大切な初期2ヶ月のくすり代が1人1,000円で、治療までの6ヶ月が2,000円でまかなえます。

結核制圧のため、ぜひご協力ください。



公益財団法人 福岡県結核予防会

〒810-0041 福岡市中央区大名2-4-7

TEL:092-761-2544 FAX:092-771-0545

募金口座名:公益財団法人 福岡県結核予防会複十字シール募金

口座番号(郵便局):01760-3-36802

